



1912 フォード“モデル T “ Torpedo”



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー
組付工場	ミシガン州ハイランドパークのフォードハイランドパーク工場(当時の子会社工場)
モデル生産量	13,376
総生産量	68,773 (全車種)
馬力	22
重量	1200 (lbs) 544 (Kg)
当時売価	\$590 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

車は非常に濃い青色で塗装されていた
ランニングボードは“Made in USA”エンボス加工されています
新しいリアアクスルハウジング
ラジエーターにエンボスで“Made in USA”
クローズドバルブ型エンジン(1911年後半から)

1911年から135ドルの価格下落

Piquette Asset: 20150103japanese

スタイリッシュな外部ガスタンク。

1912年のモデルTは7種類のボディタイプがあります – ツーリング、トーペード(出展)、ランナウト、タウンカー、デリバリーカー、クーペ、シャシー。魚雷式はスタイリッシュな外部ガスタンクをリアデッキに搭載しました。もう1つの重要な特徴は、ドアの高さが伝統的な暴走よりもわずかに低く調整された方法です。魚雷式の所有者は貴重な道具、スペアパーツや付属品を収蔵するため、ガソリントクの後ろにツールボックスを設置する。1912年のモデルTにはホーンバルブも付いています。ホーンバルブの搭載位置については魚雷式以外、すべて車体の外側に取り付けられました。

ジェリー・ハムズよりご提供された。ジェリーはピケットの重要な支持者です。ジェリー・ハムズの名を冠した博物館店をご覧ください。